

8/2 オリジナル太鼓作り教室



▲親子で楽しそうに太鼓を作る参加者たち

小学生を対象に、善防公民館で牛の革を使った太鼓作り教室が開催されました。コロナ禍の中、20名の親子が参加し、いい音が出るように力を合わせ、皮を張りながらオリジナルの太鼓を作りました。講師の十八代目太鼓屋六右衛門さんからは、太鼓作りを通して、「命の尊さ」や「ありがとう」という言葉の大切さなどを教えていただきました。

8/20 ピースバルーン号専用車両を展示



▲ピースバルーン号専用車両と撮影する来庁者

加西市を広くPRする熱気球「加西ピースバルーン号」を運ぶ専用車両が、市役所1階ロビーで展示されました。車両の周りには、バスケットや気球を膨らますインフレーターも展示しており、来庁者の目を引き、足をとめて写真を撮る姿が多く見られました。11月からは熱気球の飛行シーズンが到来します。週末の朝を中心に色とりどりの気球が田園風景を彩ります。

8/25 ニュースポーツ教室開催



▲推進委員から指導を受けて楽しむ受講者

加西市スポーツ推進委員会が、児童から高齢者の方を対象に、ラージボール卓球をもとに考案されたニュースポーツであるスーパードライブ教室を開催しました。スーパードライブは、ダブルスの卓球で速い球は打てません。開催期間中は約200人もの方が楽しみ、参加者のひとは「初めてで不安でしたが、ラリーを続けることができすぎて楽しくかったです」と話されました。

8/28 地域おこし協力隊員向け研修会を開催



▲海外から参加されたケビンさん（右）による企画提案

県内で活動する地域おこし協力隊員の研修会が、いこいの村はりまで2日間にわたって開催されました。研修の最後に5つのグループに分かれて話し合い、自らの経験を生かした企画を発表しました。海外からの参加者もあり、企画内容も様々な国の文化を融合させる内容であり、地域活性化を図るうえで、非常に有意義な研修の場となりました。

広告

広告

9/4 紫黒米や食品の栄養を学ぶ



▲紫黒米が入った「7色の炊き込みご飯」を食べる児童たち

賀茂小学校の4年生は、6月より紫黒米のバケツ稲栽培を行っています。今回、調理科学研究家の村上貴美子さんの指導のもと、紫黒米や食品の色と栄養に関する特別授業を行い、最後に、紫黒米やトマト缶、ニンジンなどを加えた「7色の炊き込みご飯」を作って児童らが試食しました。栄養価が豊富なことから児童らは「収穫したらご飯に混ぜて食べる」と話しました。

9/9 愛の光こども園 サッカー教室



▲元日本代表選手とサッカーを楽しむ園児たち

兵庫県播磨地域で活動する女子サッカーリーグ所属のASハリマアルビオンがキッズ訪問指導のため来園され、4歳児、5歳児組を対象に運動遊びを行いました。指導するコーチに合わせて、ドリブルや膝でボールを止めたりして楽しみ、最後は試合形式でサッカーをしました。東本怜大君は「サッカーは好きで、特にボールを蹴るのが楽しい。」と笑顔で話してくれました。

9/11 下里地区ふるさと創造会議に感謝状贈呈



▲感謝状を受け取る山本会長

下里地区ふるさと創造会議は、平成27年から地域の活性化のために、善防山の整備に取り組んでおり、月2回の清掃をはじめ、新たなルートの開発も行ってきました。これらの活動が認められ、日本観光振興協会より、観光地の美化に奉仕された団体として感謝状の贈呈がありました。山本貞一会長は「訪れる方々が気持ちよく登れるようにこれからも活動していく」と話されました。

9/21 オレンジフラワー活動を実施



▲皆で楽しく笑顔で花植え

オレンジ色は認知症啓発のシンボルカラーです。加西市では認知症啓発月間にオレンジ色の花を咲かせる活動を行いました。認知症の方も花の育成と設置場所の環境整備に携わり、プランターに皆でたくさんの花を植えました。この活動を通じて、オレンジ色の花のように、誰もが自分らしく安心して暮らせる温かいまちを創っていきます。

まちの出来事

広告

広告